



## ●実践成果

### 1 再生可能エネルギーの理解の深まり

理科のエネルギーの単元を学習しない段階で再生可能エネルギーの見学や体験学習に取り組んだが、エネルギーの概念把握が十分でなかった。エネルギーの概念、求め方や単位、身近な現象のエネルギーの移り変わりを学習して、再生可能エネルギーによる発電のしくみを考察することで、エネルギーの概念が深まるだけでなく、発電時の変換効率にも関心が高まり、よりよい発電方法について考えることができるようになった。



### 2 地域の再生可能エネルギー資源の再認識

本校は水力発電施設が身近にあり、エネルギー資源として馴染んできた。この学習を通して、水力発電がすぐれた再生可能エネルギーであることを改めて理解できた。豊かな水資源に恵まれた地域の良さを再認識し、これから地域の発展に貢献していきたいという思いを何らかの形で実現できるような進路を考える生徒も現れた。



### 3 再生可能エネルギーの学習の継続と発展

福島県の積極的な再生可能エネルギーの情報発信に高い関心をもつようになり、研究だけでなく、新しい発電施設の建設、制度の創設や変更注意到新聞やテレビニュースに接するようになった。授業をはなれた日常の中でも、再生可能エネルギーの話題が出るようになった。生徒たちが社会人になったとき職業として、または生活の中でこれまでの学習を生かす時がくることを期待したい。

